



コースコード：RH-RH358

税抜価格：320,000円

日数：4日間

前提条件

Red Hat Enterprise Linux 8 のRed Hat 認定エンジニア (RHCE) である、または Linux システム管理と Ansible 自動化において同等の経験を有する。

受講対象者

Linux システム管理者、サイト信頼性エンジニアの他、Ansible の経験があり、Red Hat Enterprise Linux 8 に含まれる主要なネットワークサービスの導入、構成、運用を管理および自動化する方法に興味があるその他の IT プロフェッショナル。

コース概要

データセンターで使用される主要なサービスを構成、管理、スケーリングする方法を取得

Red Hat Services Management and Automation (RH358)

は、Linux® システムの管理経験がある IT

プロフェッショナル向けに設計されており、Red Hat® Enterprise Linux

に含まれている、現代の IT データセンターでも特に重要なネットワークサービスの管理および導入方法について学びたい方に最適なコースです。これらのサービスの

基本構成を手動でインストール、構成、管理する方法を学び、Red Hat

Ansible® Engine

を使用してスケーラブルで反復可能な方法で作業を自動化します。

このコースは Red Hat Ansible Engine 2.9 および Red Hat Enterprise Linux 8.1 に基づいています。

目的

Red Hat Enterprise Linux

8に含まれているソフトウェアを使用して、Unbound と BIND9 を使用した



DNS、DHCP および

DHCPv6、クライアントの電子メール送信、印刷サービス、NFS とSMB

プロトコルファイル共有、MariaDB を使用した SQL

データベースサービス、Apache HTTPD、nginx、Varnish、HAProxy

を使用したウェブサービスなどの主要なネットワークサービスを提供。

デバイスのチーミングなど、サーバーの使用ケースに合わせて高度なネットワークを構成。

Red Hat Ansible Engine を使用して、このコースでカバーされる手動のデプロイメントおよび構成タスクを自動化。

アウトライン

ネットワークサービスの管理

リンク・アグリゲーションの設定

DNS および DNS サーバーの管理

DHCP と IP アドレスの割り当ての管理

プリンターと印刷ファイルの管理

メール送信の設定

MariaDB SQL データベースの設定

Web サーバーの構成

Web サーバーのトラフィックを最適化

ファイルベースのネットワーク・ストレージの配備

ブロックベースのネットワークストレージへのアクセス